

九州・沖縄の将来像提案

建コン協九州、「アジアクロス
ロード」「+ONE構想」

建設コンサルタント協会（建コン協）の近畿・中国・四国・九州の4支部が9日に発表した合同提言で九州支部は将来像として「アジアクロスロード構想」「+ONE構想」を提案した。

＝10面参照

アジアクロスロード構想はアジアに近い優位性を生かし西日本エリアのゲートウェイとして韓国や中国、台湾・

東南アジアとのクロスロード拠点としての機能強化、西日本エリアとの交流強化を図る。南海経路を中心隣接する中国・四国エリアと豊予海峡によるリングを活用し、インターフェース交流圏を形成することも提案した。

+ONE構想では福岡一極集中を分散するため、人流+ONEとして熊本にドローン発着機能を持つ次世代型交通拠点を形成。物流+ONEとして農業や製造業など主要産業が集積する東九州に物流の主軸を転換し、自動運転トラックを中心に各地の生産物の輸送手段を効率化することを提案した。